

経営比較分析表（令和4年度決算）

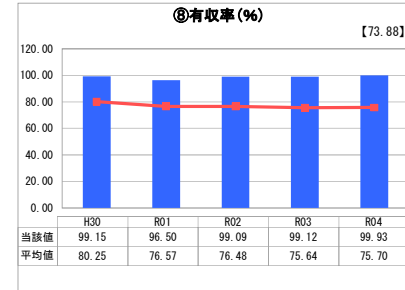
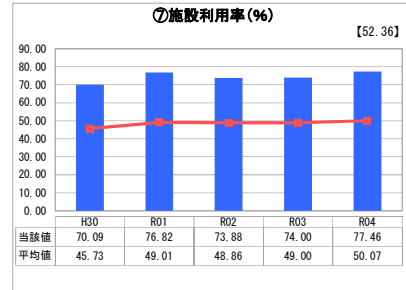
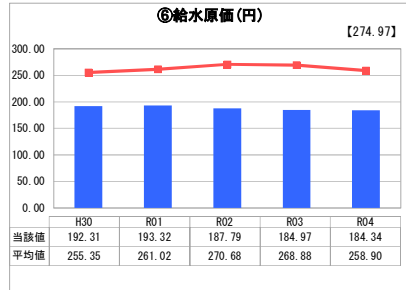
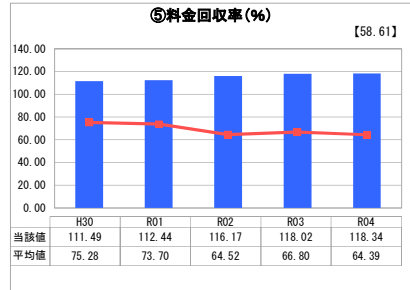
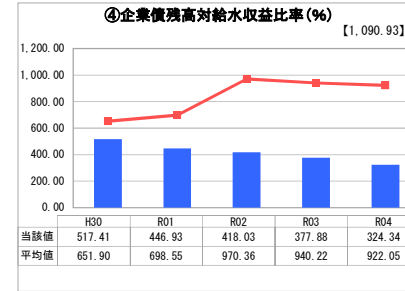
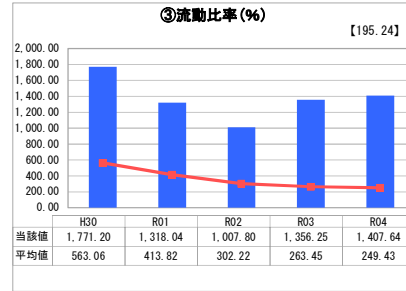
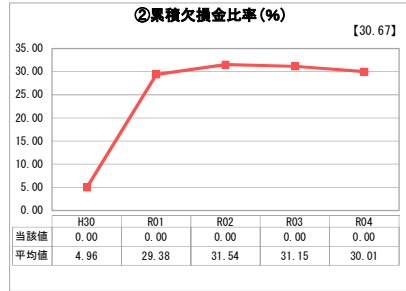
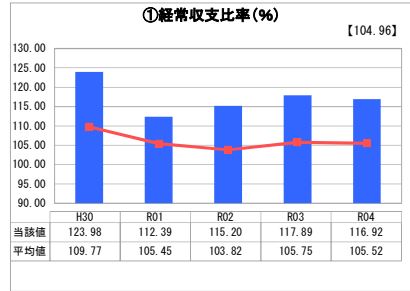
香川県 直島町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	73.30	99.90	3,400	

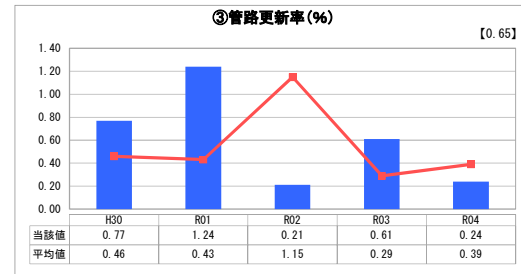
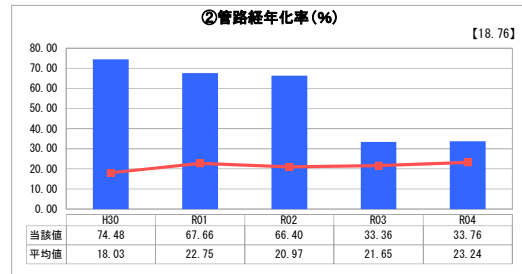
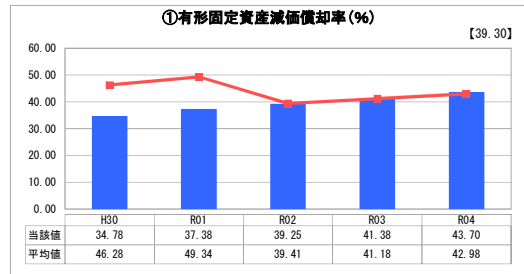
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,949	14.21	207.53
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,938	4.09	718.34

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 新型コロナウイルス感染症の影響及び動力費の高騰があり減少しているが、類似団体に比べ10%程度高く、単年度収支は黒字である。
- 令和元年度以降、単独事業費が増加しているが、今後も0%を維持するよう努力していく。
- 令和元年度以降、単独事業費が増加したため下落したが、高い流動比率を有しており、短期的な支払能力に問題はなく、健全な経営状態にあると言えるが、流動負債が増えないよう努力したい。
- 起債の償還額が減少しているため比率は下がっているが、今後、耐震化工事等のために企業債残高が増える可能性があるため注視していきたい。
- 動力費の高騰等はあるが、料金回収率は100%を上回っている。給水に必要な経費はすべて水道料金で賄うことが出来ており、安定した経営状態にあると言える。
- 類似団体の平均を大きく下回っているが、動力費の高騰により大幅な減少はない。
- 類似団体より高く遊休資産は少ない。施設規模及び配水量は適切であると言えるが、今後も安定した供給ができるよう努力していきたい。
- 有収率は類似団体の平均よりも高く、100%に近い数値で推移できている。今のところ漏水対策等が適切に行われていると考えられるが、平均値に近づけるため、計画的に更新していく。

2. 老朽化の状況について

- 令和3年度以降、老朽管の更新を実施しているが、率は下がっていないため、減少と転じるよう大幅な更新を実施していく必要がある。
- 平成30年度以降、減少傾向にある。令和3年度は、水道施設台帳の整備に伴い管路情報を直したため大幅な減少となっているが、平均値に近づけるよう計画的に更新していく。
- 更新率は1%前後を推移している状況である。平成30年度で浄水場の更新が完了したため、現在は老朽管の更新を実施しているが、更新率の上昇を目指し、計画的に更新していく。

全体総括

経営状況は非常に安定しており、資金等も確保されていると言える。今後も効率的な経営を続けていき、住民に安心安全な水を届けられる体制を確保したい。しかしながら、料金収入は新型コロナウイルス感染症拡大前の水準まで戻っておらず、今後は、人口減少及び資材や動力費の高騰などから、黒字額の減少が予想される。今以上の経営状況の改善策を検討していく必要がある。

一方、管路については老朽化が目立っており、さらなる更新の必要性がある。水道基本計画に基づいた施設の更新事業は一旦完了したので、今後は計画的な配水管の更新が求められるが、投資の増大が予想される。

令和2年度に公表した経営戦略（令和元年度～令和11年度）に基づき、長期的な経営状態を予測し、必要な投資はしながら健全かつ持続可能な経営を目指す。